



発行 今井町並み保存会  
 発行日 令和元年 8月1日  
 電話 0744-22-1128  
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>  
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
 ◇ご意見・ご感想は  
 今井まちづくりセンターまで

### 第12回今井灯火会開催近づく！

今井灯火会は、一月遅れの七夕の8月7日に近い前後の土曜日(今年は8月10日)に開催、今年で12回目になります。

今井町の皆様のご理解とご協力のおかげで、今井町の夏の行事としてすっかり定着してきました。

写真のとおり、ポスターも出来上がり、実行委員会も7月14日、27日の二回実施して、着々と準備が進んでいます。



第12回  
**今井灯火会**  
 令和元年  
**8月10日**  
 午後7時点灯

春日神社 七夕祭り  
 八幡神社  
 稲念寺 高砂しり酒  
 順明寺 西光寺 蓮妙寺  
 華菫周辺 北町 茶屋  
 南町生活広場  
 北環濠小公園 他町内各所  
 藪内家 今井まちづくりセンター  
 児童公園前復元堀

日常生活では、「ろうそくの火」とは全く無縁となりましたが、灯火会では改めて「火」の大切さと、その扱い方を学び経験する機会としつつ、灯火の連なる今井町の幻想的な町並みを楽しみましょう。

### イベント

点火式 19時(華菫)

呈茶席(華菫・四阿) ※有料300円

七夕飾り、冷やし飴水(春日神社)

冷やし甘酒(稲念寺)

灯籠流し(児童公園前復元堀)

Live 19時30分(藪内家)

♪演目「箏のしらべ」

「千鳥幻想」

「ハナミズキ」 他

おはなしのタペ 19時30分

(まちづくりセンター)

☆演目「ごろはちだいまようじん」

「口の大きなかえる」

「かっぱと瓜」

「しゃっくりがいっしょ」 他

問い合わせ 今井地区公民館 25-3102

今井灯火会実行委員会まで

※ご協力いただける方に！

灯火会終了後、ろうそくは道にこぼさないよう配布するバケツに廃棄くださるようお願いいたします。

### 奈良県立大学研修

昨年に引き続き第5回目となる奈良県立大学の研修が6月23日に行われました。今井まちなみ交流センター「華菫」にて町と保存活動の概略の講義の後、町歩き、旧米谷家にてか



まどで炊いたご飯で昼食でした。竈がインスタ映えすること、写真を撮る姿もありました。今井町には何度も来ている学生もあり、研修を通じて今井町と奈良県立大学の繋がりが強くなっていることを感じました。

### はなりのあじ2019

10月19日(土)〜27日(日)に開催するはならあと2019の作家の方が決まりました。お楽しみに。

- ・田口雅英さん ・長門あゆみさん
- ・坂野真子さん ・田中志乃さん
- ・新山浩十神戸市立科学技術高校
- ・くらあけん&あきらも☆ろつくさん
- ・奈良教育大学絵画研究室
- ・北海道教育大学油彩画研究室
- ・櫻井恵子さん ・藤田千代さん

お抹茶を点ててみよう！



檀原市教育委員会主催の「夏休みワクワク体験学習」が、7月23日(火)午前中に実施されました。

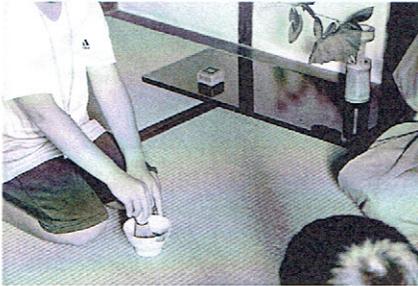
この体験学習は、市内在住の小学3年生から6年生を対象に、二つのコース(今井町/檀原市博物館)を設

定して一つを選ぶ形式で参加希望者を募集しました。

今井町コースには、18人の小学生が参加しましたが、そのお世話を今井町並み保存会が担当しました。

まず、若林

稔保存会会長から華蓋で今井町のあらましの話を聞いたあと、重文旧米谷家での古民家体験及びかまどで沸かした



背筋を伸ばして、お茶を点てる姿はとてまかっこよく見えます。

お湯を使ってお抹茶をいただく茶道作法の体験をしました。

当日は蒸し暑い不快な天気にもかかわらず、子ども達は、古民家を通り抜ける微風に涼しさを感じながら座布団の表・裏や前・後の見分け方を学んだり、慣れない正座でお抹茶の点て方や飲み方を楽しそうに体験学習しました。

今井宗久の人物像にせまる

7月20日(土)今井まちづくりセンターで来年の今井宗久生誕500年に向けて勉強会を開催しました。

当日は12名の参加者の皆さんと一緒にテレビでまず宗久が信長に茶道具の名品を差し出すことで上手く取り入ったのち、鉄砲を我孫子で生産した商人としての姿を見ました。そしてその販路を拡げるために長篠の戦いで、実際には武田軍の兵数が織田軍の兵数より劣っていたにも関わらず、武田軍を破ったのは鉄砲の威力によるものであると戦国武将たちに広めたのではなからうかと想像されていました。

宗久が実はそのようなしたたかな人物であると思わせる逸話他にもあります。宗久は自分の商いとお茶の師匠である武野紹鷗の娘婿となり、紹鷗亡き後はまだ幼い紹鷗の子、宗瓦の後見人となります。

しかし、最終的に紹鷗の名物茶器を独占し宗瓦と裁判になり、宗久が勝訴したという所にも見て取れるという人もいます。作家の火坂雅志氏は小説『覇商の門』のあとがきで「一代で堺有数の豪商にのし上がった」今井宗久という男に魅力を感じたのは、彼が乱世の申し子と言わばき存在だったからにほかならない」と述べています。

信長は殺戮者としての一面もあり、既存勢力をつぶし、新たな時代を切り開いたという一面もあります。

宗久もしたたかな一面も持ちながら、堺や今井町を信長から守ったという見方もあります。戦国時代を扱った小説、ドラマは多々ありますが宗久がどのように描かれているか見比べてみるのも面白いかもしれません。

今井往来

8月1日(木)〜10日(土)

お寺でラジオ体操 (順明寺)

8月7日(水)午後1時〜

お施餓鬼 (西光寺)

8月10日(土)今井灯火会

8月21日(水)〜30日(金)

夏休みラジオ体操(今井小学校)

